

肝疾患診療連携拠点病院による肝炎ウイルス陽性者専門医受診システムを
中心とした非肝臓専門医療機関での肝炎ウイルス検査陽性者拾い上げに関する取り組み

研究分担者：瀬戸山 博子 熊本労災病院 消化器内科

研究要旨：近年未発見、未治療のウイルス性肝炎患者の拾い上げにおいて、肝臓非専門診療科で発見された肝炎ウイルス検査陽性者への対策の重要性が認識されている。その院内連携が整備されつつある一方で肝臓専門医あるいは消化器内科医が不在の肝臓非専門医療機関で発見された陽性者に対しては受診、受療への行程が確立されていないことが推察される。我々は肝臓非専門医療機関での肝炎拠点ウイルス陽性者に対して、病院肝疾患センターを介して受診予約を含めた情報提供を行う肝疾患専門医療機関受診システムを熊本県内に構築しており今回その有効性を検証した。簡便な専門医紹介システムを軸とした慢性肝疾患患者拾い上げの取り組みは成果を挙げつつあり、有用なシステムであると考えられた。

A. 研究目的

近年未発見、未治療のウイルス性肝炎患者の拾い上げにおいて、肝臓非専門診療科で発見された肝炎ウイルス検査陽性者への対策の重要性が認識されており、院内連携は整備されつつある。一方で肝臓専門医あるいは消化器内科医が不在の肝臓非専門医療機関で発見された陽性者に対しては受診、受療への行程が確立されていないことが推察される。肝疾患診療連携拠点病院（拠点病院）は地域の肝疾患診療連携ネットワークにおいて中心的な役割を果たしている。我々は拠点病院として肝疾患専門医療機関、一般診療のかかりつけ医だけでなく肝臓非専門医療機関を含めた診療連携体制の構築が、肝炎検査を受けたことや精密検査・治療の必要性を認識していない潜在的キャリアの受診率、受療率を向上させると考えた。そのため肝臓非専門医療機関における肝炎ウイルス陽性者受診勧奨システム構築の取り組みを行った。

B. 研究方法

2018年3月より眼科、産婦人科を中心と

した術前感染症検査を実施する肝臓非専門医療機関と連携し、拠点病院肝疾患センターを介して受診予約を含めた情報提供を行う肝臓専門医療機関受診システム（受診システム）を構築し、肝炎ウイルス陽性者へ受診勧奨を行った。また2019年4月より県市町村、全国健康保険協会熊本支部委託医療機関および県内の主要な健診センターにおいても本受診システムの利用を可能とした。本システムを用いて2020年9月までに専門医を受診した患者について、年齢、受診理由、精査結果、受療率、システム利用機関別（内科系、外科系、健診系）の特徴について解析を行った。また本システムに関しては一般市民への広報を行い、その認知率を2019年3月、8月にそれぞれ2000人の拠点病院通院者を対象に調査した。

C. 研究結果

対象期間に計432名の方が本システムを介して専門医を受診し、その平均年齢は61.7歳であった。健診系からの受診者は52歳と有意に低かった。紹介元施設は内科系71%、外科系16%、健診系13%であり、外科

系では眼科からの紹介が最も多かった。平均年齢は健診系からの受診者が 52 歳と有意に低く、受診理由は HCV 抗体陽性 (HCV)、肝障害、HBs 抗原陽性 (HBV) の順に多く、利用機関別では外科系では HCV が 30%、健診系では肝障害が 20%と多かった。治療を要する慢性肝炎、肝硬変、肝がん患者は HBV による受診者では 24.3%、HCV による受診者では 65%であった。HCV では慢性肝炎、肝硬変患者の 65%が抗ウイルス治療につながった。肝障害による受診者では NAFLD/NASH が 41%と最も多かった。本システムの一般市民への認知率は 2019 年 3 月が 9.2%、8 月が 20.0%と上昇していた。

D. 考察

簡便な専門医紹介システムを軸とした慢性肝疾患患者拾い上げの取り組みは成果を挙げつつあり、有用なシステムであると考えられた。

E. 結論

拠点病院が陽性者へ個別に専門医療機関の情報を提供し、診療予約を仲介することは早期受診の促進に貢献すると考えられる。肝臓非専門医療機関で発見された陽性者に対する受診、受療への行程の確立に繋がるシステムでありさらなる拡充を検討する。

F. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

上記研究班活動に加えて、国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 客員研究員、厚労省肝炎対策推進室、全国肝疾患診療連携拠点病院と連携し、肝炎に関する総合的な施策の推進活動に携わっている。更に熊本県肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患センター顧問として、県肝炎ウイルス対策部署と連携し、肝炎撲滅対策に取り組んでいる。

G. 研究発表

1. 発表論文

○瀬戸山博子、考藤達哉 効率的な拾い上げと診療のためのわが国の制度 消化器・肝臓内科, 8(4) 1-9. 2020.

2. 学会発表

○瀬戸山博子、田中基彦、佐々木裕 「未治療 C 型肝炎患者への対策」 第 106 回日本消化器病学会総会 一般演題 2020 年 8 月

○瀬戸山博子、田中基彦、佐々木裕 「肝疾患診療連携拠点病院による肝炎ウイルス陽性者受診勧奨システムを中心とした潜在的肝炎ウイルス陽性者への対策」 第 56 回日本肝臓学会総会パネルディスカッション 6 2020 年 8 月

○ Hiroko Setoyama , Noriko Oza , Jun Itakura , Masayuki Kurosaki , Tetsuro Shimakami , Masaaki Korenaga , Junko Tanaka and Tatsuya Kanto NATIONWIDE SURVEY OF THE QUALITY OF CLINICAL PRACTICE AND MEDICAL CARE FOR LIVER DISEASE PATIENTS USING PERFORMANCE INDICATORS FOR HEPATITIS PRACTICE AND CARE. AASLD Liver Meeting, Poster session 2020年11月

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし